

7月30日、アドリンの支援を終了した式典を行いました。アドリンと夫、3人の息子たち、ご夫妻の親族及び地域の人たち、日本では民生委員に相当するであろう地域のリーダー、そして私たちの受益者を合わせて70人余りの人がお祝いに参加しました。式典では、御言と讃美、メッセージが語られ、アドリンご夫妻の証し、記念品の授与、ご家族への祝福の祈りなどの後、共に食事をして祝った数時間でした。

この式典の前日、アドリンご夫妻から打ち明けられたのが、「式典の中で結婚指輪の交換をしたい」というものでした。新たに出発しようとする二人、そこまで考えていたことに驚きつつ感動をもって聞いたことでした。そして、当日、牧師先生によって指輪の交換が行われました。

アドリンは、「私には二人の母がいる。ひとは実母、もう一人はみどりです」と証しの中で言いました。そして、夫は「私は変わりました。以前は、薬物やアルコールを乱用し、売春婦の所へ通っていました・・・」「神さまは、私を創りかえるために日本から人を送られた」と言いました。

この日、出席した地域のリーダーは、このご夫妻を「良いモデルだ」と言って牛を一頭贈った人ですが、彼はこのご夫妻の変化は一時的ではなく、真に変わったと確信していると言いました。長年、この地域で暮らしてご夫妻を知っているリーダーの言動です。

初対面の時より、アドリンの夫の目はギラギラした異様な輝きを放っていましたが、現在、その眼は落ち着きました。おそらく、夫の変化は本物であろうと思います。私たちの支援は終了しましたが、半年後、更に1年後・・・と継続して見守ってゆきます。

アドリンご夫妻は、おそらく結婚式を挙げていなかったと思います。この日は、さながらふたりの結婚式と披露宴となり、心から喜ぶことのできた一日でした。

ところで披露宴の食事代は、1万5千円余りでした。その内訳は、ファンタやコーラなどの清涼飲料水、献立はご飯にポテトチップス、豆の煮もの、キャベツの油炒め、肉の唐揚げです。参加者全員が、お腹いっぱい食べてもなお余る程の豊かな披露宴でした。



式典の中で讃美する日曜学校の子供たち



アドリンゴ夫妻と息子たち3人：子供たちが手にしている小箱は私への贈り物



結婚指輪の交換を終えたアドリンゴ夫妻と牧師先生（右）

もう一つ、静かな感動を味わったのがアタナジィの子供たち、パトリックとパシフィックです。

パトリックとパシフィックは、4歳で双子の兄弟です。昨年3月末、私たちのセンターへやって来た時、二人は栄養失調でした。当時より、アタナジィの子供たち7人の体重と身長を測定していますが、大きな変化を見ることができます。

栄養失調の症状の一つに、大きく膨らんだお腹、腹部の膨満があります。この典型的な症状がパトリックとパシフィックにもありました。私たちの支援が始まって1年4か月経過し、現在のパトリックの体重は13.5Kg、3.5Kgの増加、身長は98.2cm、14.2cm伸びました。パシフィックは、体重が14.5Kg、増加は4.5kg、身長は99.7cm、18.7cm伸びました。二人の栄養失調の症状、腹部の膨満は消失したと言ってもよいと思います。

アタナジィ一家への食費の支援は、1か月で7,400円余りです。これは、決して高額な食費ではなく、果物を買う余裕はありませんが、これだけの効果があるのです。静かな喜びと感動を味わったことでした。皆様のご支援に心より感謝申し上げます。

栄養状態を回復した、パシフィック（左）パトリック（右）



2015年4月



2016年8月

2016年8月22日

竹内 緑